

AES日本支部・日本学生支部便り

2022年冬号



【共同発行】

AES日本支部

〒105-0003 東京都港区西新橋3-24-10 Tel: 050-5534-0993

公式ホームページ <https://aes-japan.org/wordpress/>

AES日本学生支部

公式ホームページ <https://japan.aes-student.org/wordpress/>

支部長挨拶	2
2022年度 AES日本支部 運営委員体制	3
2022年度 事業計画	4
日本支部基礎音響セミナーのご報告	5
例会の活動について	6
日本学生支部 支部長挨拶	11
日本学生支部の活動について	12
編集後記	15

支部長挨拶

AES日本支部 支部長 星和磨（日本大学）

新年明けましておめでとうございます。昨年度はAES日本支部の活動にご協力賜り誠にありがとうございました。昨年9月の支部長選挙にて皆様のご支援をいただき2年の任期で支部長を拝命することになりました。後ほど述べますが70年の歴史をもつAES日本支部の架け橋の一人として、繋いできた襷をより強固なものにして次に繋ぎたいと思います。皆様には引き続きご関心お寄せくださいますよう心からお願い申し上げます。



さて今年は卯年。うさぎだけに飛躍の年となるでしょうか。12年前は2011年、東日本大震災が発生した年です。AES日本支部Webサイトの履歴から当時の発信を確認してみると、3月の例会はWes Dooley氏を迎えてリボン・マイクロホン講座を実施する予定でしたが、来日できず中止となったようです。しかし4月（AES conference –Audio for Games– 報告）、5月（3Dサウンドのオーサリング手法）、6月（富田勲氏講演）と、すぐさま立ち上がり精力的に例会を続けていたことがわかります。なんとなく記憶があるなあとお知らせを読み返していると例会担当の一人として私の名前が……。他の例会担当のお名前から「そうそう当時は先輩方におんぶに抱っこだったなあ」と記憶が鮮明に戻るとともに、少し恥ずかしくもなりました。

少し脱線してしまいました。話を2023年に戻しましょう。今年は新型コロナウイルスの影響を受けた約3年から大きく変革する重要な年になる、と私は感じています。これと同時に、AES日本支部もこの変革期を「良い波」と捉えて、大きな前進となる一步を踏み出すことが求められているとも感じています。このコロナ禍においてAES日本支部は、例会のオンライン実施や基礎音響セミナーのライブ/オンデマンド配信など、日本各地の会員の皆様に広く情報を提供することができるようになりました。しかし、もう一つの大きな使命である「コミュニケーションの場」に関しては、新型コロナウイルス発生以前のよううまく提供できていないのが現状です。オーディオというキーワードをもとに集い語らうなかで新たな展開が生まれる、そんなシナジー（相乗効果）を生み出し続けて70年。原稿を書きながら、数寄屋橋の成城クラブで例会をやっていた頃を思い出しました。今年はAES日本支部の本来の姿を取り戻すきっかけとなる、そんな1年にしたいと思います。末筆ではございますが、本年もAES日本支部の活動にご理解とご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

2022年度 AES日本支部 運営委員体制

	2022年度（2022年9月～2023年8月）	
	2年	1年
支部長	星 和磨	
副支部長	中澤 哲矢	
監事	内村 和嗣	亀川 徹
運営担当	山崎 淳	菅野 重信 高橋 宏幸
例会担当	西村 明 嶋田 美穂	長江 和哉 岸 智也
会員担当	岡田 詞朗	中川原 修 小野 良太
会計担当	中原 雅考	小谷野 進司
広報担当	三村 将之 土倉 律子	染谷 和孝 小野 一穂
教育担当	尾本 章 重富 千佳子	丸井 淳史 渡邊 祐子
渉外担当	河原 一彦	
アドバイザー	鈴木 弘明	由雄 淳一
事務局	佐藤 えり沙	見上 陽一郎

2022年度 事業計画

1. 会議

- ・ 定期総会, 運営委員会等
- ・ AES日本支部70周年記念計画
- ・ 国際ゲームコンファレンス開催 (@東京、開催日未定) に向けたローカル会議

2. 事業

- ・ AES基礎音響セミナーの開催
- ・ AES日本学生支部主催AESジャパンフォーラム開催サポート

3. 支部体制の充実と効率化

- ・ 支部会員向けのサービスの拡充 (例会の多様化に対応, 例会アドバイザーの設置)
- ・ 賛助企業向けサービスの拡充 (イベント等との連携)
- ・ 新会員の獲得とアソシエイト会員からフルメンバー会員への移行促進

4. 会員情報の管理と会員への連絡

- ・ 本部会員データベースの活用を推進しセキュアな連絡体制 (特にメール配信) の構築
- ・ WEBを活用した会員更新手続きの利便性の向上を図る

5. 例会

- ・ 見学会・講演会を主体として, 計6回から8回程度開催予定
- ・ 外部イベントとの連携も視野に入れ幅広い内容を図る
- ・ 地方開催の推進

6. 懇親会

- ・ 2回 (2022年12月, 2023年8月)

いずれもコロナの状況を鑑みて、開催方法や内容を運営委員会で精査し実施する予定。

以上

日本支部基礎音響セミナーのご報告

AES日本支部 教育担当 尾本章 (九州大学) 重富千佳子 (日本音響エンジニアリング)
丸井淳史 (東京藝術大学) 渡邊祐子 (東京電機大学)

2022年11月23日(水・祝)、11月27日(日)、12月4日(日)の3日間にわたり、第13回目の「AES基礎音響セミナー」を開催しました。世界的な感染症流行下における開催自体の是非、あるいは開催する場合の方法が議論されましたが、結果的に昨年度に引き続きオンライン開催が決定されました。

セミナーは、Zoomウェビナーによって昨年度・一昨年度とほぼ同規模で開催されました。それぞれの分野において第一線で活躍しているプロフェッショナルを講師として迎え、基礎的な物理音響学、電気音響、トランスデューサ、室内音響学、デジタル信号処理など、オーディオに関わる幅広い内容の講義がおこなわれました。

オンラインでの実施であったために、体験中心である「ステレオ録音実習」や「マスタークラス」の開催は今年も見送られましたが、「聴覚と音知覚の基礎」は今回から再び実施することができました。また、感染症流行下でのAES会員サービスの一環として、受講対象者をAES会員ならびに賛助会員企業様に限定し、昨年度・一昨年度と同様に無料で実施いたしました。受講者のみなさまのご協力もあり、特に大きな問題なく、セミナーを実施することができました。

参加登録者数は141名(一般70名、学生16名、賛助会員55名)でした。セミナーの記録映像はセミナー終了後から1ヶ月のあいだ、参加者に限定して視聴いただけるようにし、それぞれ50~100回ほどの再生がされました。

<セミナー概要>

初級講座

- | | |
|-----------------|---------------------|
| A1. 音の基礎 | 星和磨 (日本大学) |
| A2. 聴覚と音知覚の基礎 | 西村明 (東京情報大学) |
| A3. 電気音響の基礎 | 田村良隆 (スタジオイクイップメント) |
| A4. デジタル信号処理の基礎 | 渡邊祐子 (東京電機大学) |

中級講座

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| B1. 室内音響入門 | 中原雅考 (ソナ/オンフューチャー) |
| B2. スピーカ入門 | 小谷野進司 (KOYANO Sound Lab.) |
| B3. マイクロホン入門 | 小野一穂 (NHKエンジニアリングシステム) |
| B4. 実用デジタルオーディオプロセッシング | 鈴木久晴 (エヴィクサー) 記録映像配信のみ |
| B5. 音の心理評価入門 | 丸井淳史 (東京藝術大学) |

特別講座

- | | |
|-----------|---------------|
| C. 技術英語入門 | 鈴木弘明 (MQA/ソナ) |
|-----------|---------------|

例会の活動について

AES日本支部 例会担当 岸 智也（株式会社カプコン）

例会は支部活動の一部門として、会員の皆様へ音響に関する最新技術をテーマにした講演や設備見学会実施などオーディオに関する様々な情報を提供することを目的として活動しております。22年度も引き続きのコロナ禍においてZoomウェビナー形式のオンライン例会を継続開催させて頂いております。オンラインの利点を活かし年間平均60名と、毎回多くの皆様にご参加して頂きまして心より御礼申し上げます。

また本年度はオンラインと対面を組み合わせたハイブリッド例会も開催することができました。感染防止策を取った上での開催となり参加者は限られましたが、久々の対面での質疑応答や情報交換は大いに盛り上がりました。今後も感染状況を踏まえた上で、対面での例会実施も検討して参りますので、今後ともご参加とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

参加された皆様に例会後に回答いただいておりますアンケートには貴重なご意見を多数頂いており、今後の例会テーマの参考にさせていただいておりますので、今後ともアンケートには是非ご協力をお願いいたたく存じます。引き続き、オーディオ技術・業界の発展に向けて皆様に有益な情報をお届けできるよう活動していく所存です。引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

<2022年 実施報告>

	開催日	開催方法	テーマ・講演者	参加者数
2月例会	2月16日 (水)	Zoom ウェビナー	九州大学芸術工学部音響設計コース施設オンライン見学 尾本 章 氏 (九州大学 芸術工学研究院) 山内 勝也 氏 (九州大学 芸術工学研究院)	53名
4月例会	4月15日 (金)	Zoom ウェビナー	全周4π音場再現スタジオ MIL (Media Integration Laboratory) オンライン見学 北木 隆一 氏 (株)メディア・インテグレーション) 前田 洋介 氏 (株)メディア・インテグレーション) 中原 雅考 氏 (株)ソナ) 亀川 徹 氏 (東京藝術大学)	97名
7月例会	7月22日 (金)	Zoom ウェビナー	SSL Origin アナログインラインコンソールを用いた録音教育 について 眞野 浩 氏 (ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン(株) ク ライアント・サービス部) 松井 憲佑 氏 (ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン(株) 営業部) 市尾 賢次 氏 (神戸電子専門学校 サウンド分野) 伊藤 直人 氏 (神戸電子専門学校 サウンド分野)	25名

8 月 例 会	8月24日 (水)	(株)JVCケン ウッド 本社 横浜事業所 +Zoomウ ェビナー	EXOFIELD体験会&講演ハイブリッド配信 新原 寿子 氏 (株)JVCケンウッド メディア事業部 事業開発部 コア技術開発グループ)	現地20名 オンライン 26名
9 月 例 会	9月30日 (金)	Zoom ウェビナー	Immerse Gamepack for FINAL FANTASY XIV Edition の立体音響表現について マリエル・ジェイコブソン 氏 (エンボディVR社・クリエイテ ィブディレクション&プロダクションVP) 絹谷 剛 氏 (株)スクウェア・エニックス サウンド部 サウンド デザイナー) 南 明宏 氏 (株)スクウェア・エニックス サウンド部 サウンド プログラマー)	94名
12 月 例 会	12月8日 (木)	Zoom ウェビナー	オーディオエンジニアのためのIP技術 佐藤 雅郎 氏 (パナソニック コネクト(株) / 現場ソリューショ ンカンパニー 映像メディアソリューション事業本部 ソリュー ション1部)	45名

 Japan
Audio Engineering Society

2月例会

九州大学芸術工学部音響設計コース施設オンライン見学



山内 雅也



山内 雅也



尾本 雅



尾本 雅

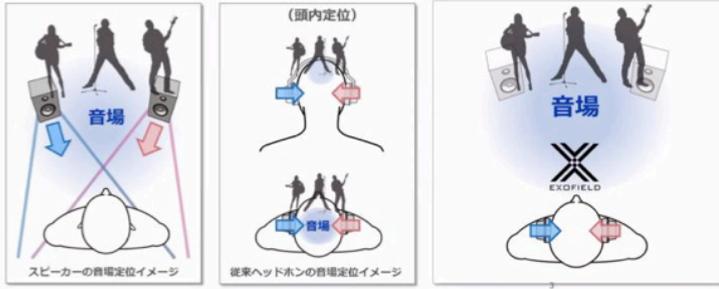


Japan Audio Engineering Society **8月例会 EXOFIELD体験会&講演ハイブリッド配信**

EXOFIELD®とは

ヘッドホンリスニングでありながらあたかもスピーカーで聴くような自然な音場を再現する頭外定位音場処理技術

「EXOFIELD」: EXO (外) + FIELD (フィールド、領域) を組み合わせ、これまでにない音場の再現がもたらす新しい世界への広がりをあわせた造詣



Japan Audio Engineering Society **9月例会 Immerse Gamepack for FINAL FANTASY XIV Editionの立体音響表現について**

オリジナルサウンド: オン

表示



ミュート | ビデオの停止 | 参加者 11 | チャット | 画面の共有 | レコーディング | 手を挙げる | Q&A | 日本語 | アプリ | ホワイトボード | 退出



12月例会 オーディオエンジニアのためのIP技術



日本学生支部 支部長挨拶

AES日本学生支部 支部長 森永 実季（東京藝術大学）

AES日本学生支部長を務めております、森永と申します。日本学生支部の活動におきまして、日頃からAES日本支部の皆様には多くのご協力を賜り、この場を借りて感謝申し上げます。

一昨年から日本支部便りにこのように日本学生支部の活動を紹介する場を設けていただき、今年度も引き続き掲載の機会をいただきましたこと、大変嬉しく思います。この支部だよりを通して、日本学生支部の活動について少しでもご興味を持っていただけましたら幸いです。

今年度、日本学生支部では例年に引き続きオンラインで「若手・学生のためのAESジャパンフォーラム2022」を学生主体で開催しました。コロナ禍は未だ終息の影を見せず、今年度もフォーラムの対面開催を見送りましたが、日本そして海外からも若手・学生の皆さんに参加していただき、オンラインならではのメリットを活かしたフォーラムになったと思います。研究・成果発表のテーマは3Dオーディオ、室内音響、アニメーション、海外の音楽教育など多岐に渡り、どれも興味深い内容でした。また特別企画では、新しい試みとして音響業界でご活躍中の先輩方にお話しを伺いました。次年度以降も、より多くの若手・学生の皆さまにとって有意義な研究発表や交流の機会を用意できたらと思います。

最後になりますが、より詳細な日本学生支部の活動について以下の公式ホームページに掲載しております。我々の活動レポートなども掲載しておりますので、ぜひご覧ください。本年もAES日本学生支部の活動へのご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

AES日本学生支部公式ホームページ

<https://japan.aes-student.org/wordpress/>



日本学生支部の活動について

AES日本学生支部

2022年度のAES日本学生支部は、東京芸術大学、東京工科大学、千葉工業大学など日本の大学に所属する学生運営メンバーを中心に活動を行いました。そして主なイベントとして、11月に「若手・学生のためのAESジャパンフォーラム2022」をオンラインにて開催しました。そのイベントの内容について簡単にご紹介します。

Audio Engineering Society
AES(Audio Engineering Society, Inc.)は、ニューヨークに本部を置き、日本をはじめ世界各地に支部を有するオーディオ技術系、研究者など専門家の団体に、オーディオに関する第一の国際組織です。

Japan
AES Japan
Chapter Center

2022 **11.19 SAT ~ 11.21 MON**
研究・成果発表オンデマンド配信

2022 **11.20 SUN**
質疑応答・ディスカッションなど

若手・学生のための
AESジャパンフォーラム
AES Japan Forum for Beginners and Students

AES ジャパンフォーラムとは、音に関心を持つ日本の若手・学生たちが、普段の研究や制作などの成果を発表し、参加者の皆様と意見交換をするイベントです。今年も昨年に引き続き、オンライン開催となります。

発表者・一般参加者ともに
参加費無料

オンライン開催

要事前申込み

いろいろな音を聴き合おう。
いろいろな音に触れ合おう。

2022

日本各地から
ご参加お待ちしております!
お申込み・詳細はこちらから→

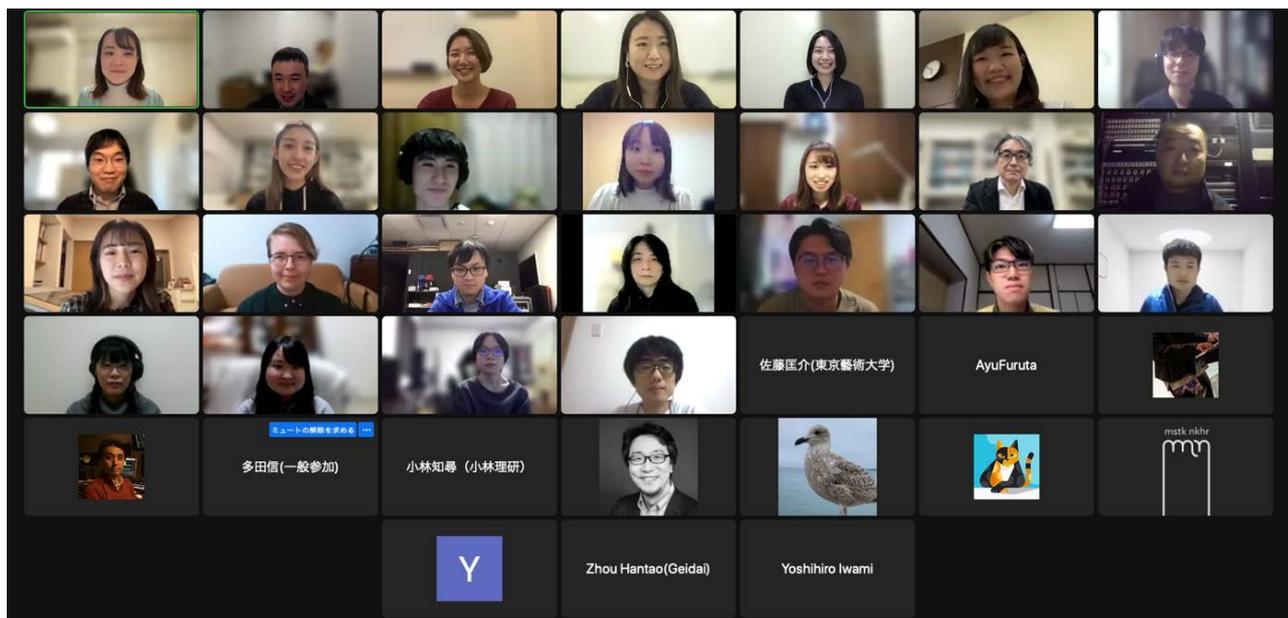
主催: AES日本学生支部 協力: AES日本支部

お問い合わせ: aesjapanstudent@gmail.com (AES日本学生支部)

《若手・学生のためのAESジャパンフォーラム2022》

本フォーラムは昨年度に引き続き、Zoomを利用したオンライン開催となりました。研究および成果発表は、14件のお申込みをいただき、日本全国の若手・学生による発表が行われました。

フォーラムの企画・運営は、特設サイトの作成や特別企画の考案など、日本学生支部の運営メンバーを中心に行いました。またフォーラム開催にあたって、日本支部の皆様にもご相談にのっていただき、学生だけでは難しい部分について助けていただきました。ご協力いただいた日本支部の皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。



・研究成果発表

発表資料については、オンデマンドのポスターもしくは動画をフォーラム特設サイト上に掲載しました。それぞれDropboxとYouTubeを用い、イベント前日の11月19日から21日まで、特設サイトでいつでも視聴やコメントができるようにしました。フォーラム当日は、Zoomのブレイクアウトルーム機能を用いて各発表者が60分間質疑応答を行いました。なお発表者14件の内訳は、工学院大学1件、東京芸術大学2件、名古屋芸術大学10件、日本大学1件でした（大学名は五十音順）。発表の内容は立体音響、録音、ミキシング、室内音響など様々でした。各発表タイトルなどの詳細は日本学生支部公式ホームページ（<https://japan.aes-student.org/wordpress/archives/1653>）をご覧ください。

・特別企画

今年度の特別企画は『音の仕事のリアル』～音響業界で活躍する先輩方による座談会～と題し、音響業界で活躍する先輩方から、“コロナ禍でお仕事の内容に変化は…？”“学生時代にやっておいてよかったことは…？”など、音の仕事にまつわる興味深いトピックについてお聞きする座談会形式の企画を開催しました。音の業界でご活躍される4名の皆様、土倉律子さん（ソナ・東京芸大卒）、佐藤えり沙さん（ティアック・東京芸大卒）、蓮尾美沙希さん（WOWOW・東京芸大卒）、重富千佳子さん（日本音響エンジニアリング・九州大卒）に登壇していただき、お話を伺いました。仕事のリアルなお話をお聞きすることができました。そして企画の最後に行った質疑応答では、学生からの質問にもたくさん答えていただき、学生にとって非常に有意義な機会であったと思います。

また本企画はAES日本支部の皆さまにも企画や登壇など、多くのご協力をいただきました。おかげさまで興味深い企画となりました。この場を借りて感謝申し上げます。



橋本樹 (運営/東...)

橋本樹 (運営/東京工...)

[発表者] 森永実季 (運営/...)

佐藤えり沙/ TASCAM

連尾 美沙希 (WOWO...)

土倉 律子 (ソナ)

重富 千佳子(日本音響...)

デイングしています...

『音の仕事のリアル』

～音響業界で活躍する先輩方による座談会～

音響業界で活躍する先輩方から、“コロナ禍でお仕事の内容に変化は…？”
“学生時代にやっておいてよかったことは…？” などなど…
音の仕事にまつわる興味深いトピックについてお話しする座談会です☆
参加者のみなさんからの質問タイムも予定しています。

【登壇者】

- ★土倉 律子さん (ソナ・東京芸大卒)
- ★佐藤 えり沙さん (ティアック・東京芸大卒)
- ★連尾 美沙希さん (WOWOW・東京芸大卒)
- ★重富 千佳子さん (日本音響エンジニアリング・九州大卒)

・まとめ

「若手・学生のためのAESジャパンフォーラム」は昨年に引き続きオンライン開催となりましたが、AES日本学生支部の運営メンバーとAES日本支部の皆さまのご協力により無事に開催することができました。オンラインによるフォーラムの進行にも慣れ、比較的スムーズに運営することができました。新しい試みであった特別企画では、音響業界で働く先輩方からお話を伺うことができました。次年度以降も先輩方と繋がりを持ち、このような企画を続けていけたらと考えています。

その一方で、今回のフォーラムについての反省点や今後の課題も浮き彫りとなりました。卒業・修了による学生支部メンバーの移り変わりによって、運営人員が非常に少なくなり、企画運営のための役割分担や引き継ぎがうまくいかないことがありました。今後、さらに日本の学生に声をかけて行く必要があります。

また次年度は、オンラインではなく対面での開催についても検討できたらと考えています。

編集後記

AES日本支部・日本学生支部便り 2022年 冬号をお読みいただき、ありがとうございます。AES日本学生支部との共同発行という形をとらせていただいて3年目になります。執筆者のみなさまをはじめ、ご協力くださった方々に感謝申し上げます。

例会では講演者の方々が現地に集まって配信してくださったり、ハイブリッド配信が実現したり、振り返ってみると少しずつ明るい兆しが見えているように思います。みなさまと現地でお会いできる日も近づいているのではないのでしょうか。

さて今回の支部便りでは記録写真を大きくレイアウトし、各イベントの写真をAES日本支部HPの関連記事へリンクさせております。イベントの詳細をご覧になりたい方はぜひご活用ください。また、日本支部主催イベントのお知らせはHPだけでなく各種SNSからも発信しております。これを機にフォローいただけますと幸いです。本年もみなさまにとって佳い年となりますことをお祈り申し上げます。

Facebook: <https://www.facebook.com/AESJapan>
Twitter: <https://twitter.com/aesjapan>
Instagram: <https://www.instagram.com/aesjapan/>

AES日本支部 広報担当